

自己評価票 (参考例)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
<p>○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>現在の運営理念は、開設時の時に作られており、地域密着型サービスの地域の中で利用者を支え、サービス運営理念を一つ加えたいと思っております</p>	○	<p>現在サービスを受けている利用者、家族、地域の方々の意見を取り入れ、職員と共に理念を作りたい必要があります。</p>
<p>○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>職員がチームワークの裏には、運営理念を表現し、日々のケアに日々取り組んでいる。</p>	○	<p>法律改正により、管理者と職員と理念について、もう一度考えながら今までの画り直し、新しい取り組みについて、考えながら話し合っています。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>家族への広報誌、利用者の地域への利用に便利に運営理念を掲載し、利用者の役割を理解してもらえよう取り組んでいます。</p>		<p>今後、地域からの情報は、流しに行きます。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
<p>○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りできるような日常的なつきあいができている</p>	<p>管理者や職員、利用者、隣近所の方と挨拶をしたり、お話をしている。広報誌を渡し、寄り、気軽に、利用者の地域に立ち寄り、お話を聞いて、お話を聞いています。</p>		<p>近所のお宅から、お話を聞いています。</p>
<p>○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>町内会に加入している。地域活動には、可能な限り参加し、努めています。町内会の清掃活動や、育成会の廃品回収などに協力しています。</p>		<p>今後、地域にも参加できるように、地元の人々と交流しています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	し印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の喜 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	○	地域の高齢者との共通点をあきらかにして考え て行きたいです。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる		改善する事は、母体と連携を取り迅速に改善 していきます。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている		更に、スタッフ全員で話し合い、サービス向上に活 かしていきます。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる		常時介護保険課から情報を受け取りながらサ ービスの向上に取り組んでいます。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 はそれらを活用できるように支援している	○	学習機会があまりない中で、スタッフでの勉 励する機会はありません。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている		介護保険課で行う虐待防止会議には参加 しているがスタッフまで参加する会議はありま せん。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいる たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている		ご本人の不安の情報は、常に 発信していただき、必要に応じて 電話連絡してまいります。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		苦情に対しては法人役員と連携 しながら対応してまいります。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的に及び個々にあわせた報告をしている		スタッフ移動時などもご家族に 報告してまいります。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		苦情、意見、不満などが出た場合は 運営推進委員会などに表出し法人 と連携しながら反映させていきま す。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている		運営に関する職員意見の意見を反映する 特別な時間は設けていないので、これから は、いつでも行なっていきたいです。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	○	職員人数の対応が十分で あるため、勤務の調整が 必要です。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている		職員補充が、あつた為、1年間位は職員異動を行いません。
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研究を受ける機会を確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○	全員が勉強会に出席する時間が、多い事や施設内での勉強の時間が取れないので、取り組んでいきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○	同業者同士の職員の施設研修を行っている。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる		法人役員との面接は毎年行っています。スタッフが、スタッフの要望や意見を集め、管理者が報告しています。
22	○向上心を持つて働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	○	さらに職員が働き甲斐のある組織を作りに行く努力が必要であります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	し 取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		<p>ご自宅やご家族が近い方は施設に入居お前に何度か遊びに来て頂く機会が多く設けられています。全員ではあいません。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	○	<p>ご家族とのご面会は1回位が限度であり、初期の段階ではお話し合いをする機会を増せています。</p>
25	<p>○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		<p>他の介護サービスは利用していません。</p>
26	<p>○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		<p>入居おの方の中には入院先の病院より直接入居される方がいるので、その場合、徐々に馴染める環境にはなっています。</p>
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		<p>更にはおの関係を築きながら、ご本人と共に過ごし、支えあえる。おのひにいに行きたいと思えます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		<p>スタッフ全員が、各々家族の状況に合った対応がいき、本人を支えていく関係を築くよう努力して行きます。</p>
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している</p>		<p>あさひから家族への情報は、まめにしています。また本人の代弁者として、様々努力して行きます。</p>
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		<p>本人が大切にしていた人達が、何回も合っに来て下さる雰囲気を作りたいと努力して行きます。</p>
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の間を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるよう努めている</p>		<p>家事参加の他に、余暇に際しても個々の得意不得意などをも支え合、連携を促すことにより、様々な場面で、支援の取組が、心づくりに、各々を、今後地域に馴染む様に努力して行きます。</p>
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないよう努めている</p>		<p>可能な限り馴染みの場所へ出向いたし、馴染みの人の情報を大切にし、入居者の希望を元に、再会の機会作りの支援をいたします。</p> <p>職員が常に入居者同士のコミュニケーションを意図し、個々の不足部分の代弁、権利擁護に努め、良いコミュニケーションをとります。</p> <p>契約が終了した場合においても、本人が反響に訪問されたり、家族のことも近況報告もくれたり、継続的に関わりたいと努めています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	U/F (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴・生活記録・センター方式など活用可のもとに、入居者様一人ひとりの意向とその都度確認しおたがら支援を行っています。	今後もしも本人の変化に対応しおたがら個別ケアを大切にしていきます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者様全々に担当の職員を配り、職員間での情報の共有やセンター方式で活用し可能な限り把握するよう努めています。	入居前御家族に面接に行き、ご本人の生活歴、生活環境、暮らし方、サービスの利用など情報を得ている。またご本人にも同様の面接をしております。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の生活において体調チェックシート・生活記録・活動記録を活用し職員間の申し送りなどご本人の身状態や有する力の現状を総合的に把握しています。	スタッフ間の申し送りにほたりに全員の情報が共有し把握する様に努めていきます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的な変化のあった時には介護支援専門員の監理のもとにモニタリングを行い、話し合い家族との連絡も密に行っており、定期的に反映した介護計画を作成しています。	今後もしもご本人、ご家族と必要関係者との関係と良好し、意見やアイデアを反映させていきます。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者様の状況に变化のあった際には介護計画の見直しと関係者、ご本人の話し合いにより、行っており、現状に即した新しい計画に更新しています。	入居者様の变化(認知度の進行)についてご家族に報告しおたがら、介護、医療と連携しおたがら現状に即した計画を作成して行きたいです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	○	日々の生活を多方向から記録に残し個別記録にまとめたり、職員がバリエーションを有できるように、モチベーションを高めることに活用しています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている		ご本人やご家族の状況に配慮し可能な限り、多種多様な要望にも柔軟に対応出来る様、手配、連携に努めます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	○	ボランティアも充実させる教に積極的に参加協力を依頼して行きたいです。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている		現段階では他のサービスは未利用していませんが、将来的には検討して行きたいと思います。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		入居者様の権利擁護についても今後地域包括支援センターの協力を得ながら勉強して行きたいです。



項 目	実施している内容・実施していない内容 (実施している内容・実施していない内容)	し 取 組 ん で い き たい 項 目 (取組んでいき たい項目)	取 組 ん で い き たい 内 容 (す で に 取 組 ん で い る こ と も 含 む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を 築きながら、適切な医療を受けられるよう に支援している	母体の医師が2週間に1度の応診で、 日常の健康管理を支援している。また本人 ご家族の希望により別の病院へ受診する ことも可能(かかりつけの病院)です。		今後とも継続し、看護師、医師と 相談しながら、支援して行きたいです。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築 きながら、職員が相談したり、利用者が認 知症に関する診断や治療を受けられるよう 支援している	母体の精神科の医師の協力を受け スタッフが相談に乗って頂いたり、応診して 頂いたりしています。		母体との連携でいつでも診断や 治療が受けられる体制にしたいです。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域 の看護職と気軽に相談しながら、日常の健 康管理や医療活用の支援をしている	母体との連携で、担当看護師と 健康管理や医療活用の支援をしています。		今後とも看護師との連携と大切に して行きます。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせる よう、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談に 努めている。あるいは、そうした場合に備 えて連携している	周辺地域の病院を含め、各諸施 設とは、開設当初から情報交換等行っ たり必要に応じて、対応できるよう連携が とれています。		入退院については、主治医や他の 医療機関の医師とも情報交換して います。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、できるだけ早い段階から本人や家族等 ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合 い、全員で方針を共有している	当施設は、ファミリーケアは行っていません。 必要に応じて、母体の病院で対応しています。 重度化した場合、周辺地域の施設と 連携しながら、ご家族には、常に報告して います。		ご本人の病態の変化については常に、ご家族 に報告し、重度化した場合の方針は、ご家 族と話し合いをしたいと思います。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度化や終末期の利用者が日々をより良く 暮らせるために、事業所の「できること・ できないこと」を見極め、かかりつけ医と ともにチームとしての支援に取り組んでい る。あるいは、今後の変化に備えて検討や 準備を行っている	ファミリーケアは、現在行っていない。 重度化になる前に、ご家族と話し 合ったり、主治医よりご家族にも 報告して、頂いています。		現段階では、ファミリーケアは 行う予定はありません。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	し印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取組んで いることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	○	さらに継続ねと供に情報交換を深 らせて行きたいと思っております。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない		記録の管理の徹底を行っております。 又スタッフ同士の会話(入居者様にかいて)にも十分 注意し配慮して行きます。 気配りを大切にしております。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている		更に入居者様ご自身の思いを発言できたり 自己決定を出来る雰囲気作りやスタッフの声掛け の気配りを向上させて頂いております。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している		問題も多々ありましたが、個々の希望に応じて対応 できるように改善、努力をしております。 スタッフ側の都合や優先にならないう様に常 負の強さを上げて行きたいです。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている		なじみの店より散髪等施設外の店に行くに とも入居者様にとつては良いことではなかと 思っております。 今後検討してまいります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	（取組んでいきたい項目）	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の能力に合わせて調理や盛り付けの配慮 後片付け等に参加して頂いてほしい。 切り分けたいメニューも味付けもご好みの味付けをしてほしい。着席をかな、着席を待たず、お食事中は頂いてほしい。 又、食事の行事食や誕生日の行事食も取り入れて頂く。	前粒がマンネリ化しないようにしたいと思っております。 また、味付けも興味を中心にしています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもので一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	極力本人の嗜好に合わせて食事も用意する お酒やおつまみも、量や時間、喫煙場所を求め自由にして頂いてほしい。	入居時に嗜好調査をして、本人とご家族の了解を得てから支援をしています。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	おむつやリハビリユニットを使用したい人は、時間により声掛けを行い、自らの排泄を促し、取り替えを行います。又、国の方々に気がいらないよう配慮しています。	便秘や下痢など、体調面にも気を配りながら、排泄の失敗がな、生活支援をしています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	排泄後、服装などに排泄の自立に向けて支援している。 個人の都合に合わせて、洗濯、洗身等の介助を行っています。気持ちよく入浴して頂くよう声掛けや入浴時間にも配慮しています。 又、健康状態に合わせて、お風呂、足浴、着替も行っています。	各入居者様の体調、気分など、各スタッフが把握し、お風呂入浴が嫌いな方には、入浴の支援をしています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個人の好きな時間に入浴して頂きます。又、日中の昼寝も自由にして頂きます。 居室内では、ご自身で持ち込んだ寝具を使用し、お休みの日は、お散歩や読書、お茶の参加などに、意識的に体を動かして頂いて頂きます。	個室とホールや食堂など、その場面に合わせたお風呂を利用し、お休みの時間を作っています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	金銭はご家族の承諾の下、個人別に保管し一括して施設側で保管し、必要に応じて支払いを行います。又、個人の能力に応じて、自己管理の取組方には、ご家族と相談の上で、財布を持つ頂いています。	楽しみごと、気晴らしの活動も色々増やせば、ご本人の能力に合わせて支援していきます。


項目	実施している内容・実施していない内容	取り組みの事実	取得している内容・実施していない内容	印刷 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭は、ご家族の承諾の元、個人別に保管し一括して施設側が保管し、必要に応じて支払いを行っている。 又、個人の能力に応じて自己管理の生活方にはご家族と相談の上で財布を拝見しています。</p>	<p>買物支援票、ご自身の身体からお産出しお薬などというものを体験して頂くように考え支援していきたいと思っています。</p>		
61	<p>○日常的な外出支援 事業所の中で過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>毎日散歩や日光浴を行っています。 季節の移り変わりや外気の寒暖を肌で感じることができています。</p>	<p>月に一度ドカバグを行い、普段とは違う景色を楽しんでいます。</p>		<p>母体の行事にも積極的に参加し地域の草取りにも参加しています。</p>
62	<p>○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かける機会をつくり、支援している</p>	<p>月に一度、市内外へドライブに出掛けています。 季節ごとに花を鑑賞したり、動物系蝶を飼育しています。 ご希望によりご家族も参加できることがあります。</p>	<p>出来ただけたくさんご家族の方々に参加して頂けるように取り組んでいます。</p>		
63	<p>○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人の要望によりご家族へ電話を掛けて外部からの電話を取り継いでいたり、糸も自由にも取り取り付けています。 ご本人の衣類により代筆をすることもあります。</p>	<p>季節毎のあいさつ状や定期的な手紙(お誕生日)等を自らの手で書かせるように支援しています。</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>ご家族、友人、知人の訪問は全て受け付けています。(担しご家族より面会を拒否して欲しい旨依頼された場合は、お断りしています) 訪問に関係なく受け付けています。 自衛に配慮し、より丁寧にしています。</p>	<p>スタッフは、いつも笑顔で対応出来る様日々心がけて行きます。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指針における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は行わないという事をスタッフ全員が認識しており、身体拘束のないうちを実践しています。</p>	<p>スタッフ同士のミーティングやマニュアル等の見直しを見当として行きたいと思っております。</p>		

項 目	実施している内容・実施していない内容 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、鍵をかけないという様取り組んでおります。やむを得ず鍵をかける時は、スタッフ全員に説明をいたします。(玄関のみです)玄関の内側からの出入は、スイッチを押さないと開かないようになっています。	○	他の施設においては、玄関の鍵をかける必要はない所もあるが、今後は、ご家族に了解を得るから、スタッフが見守る体制を作りを考えたいと思っています。
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者様一人ひとりに担当スタッフが来ます。また、昼夜通して全入居者様の様子とスタッフは把握し、安全に配慮しています。		入居者様のプライバシーに関しては、全スタッフが配慮する様常に伝えています。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取組みをしている	入居者様にとって危険性があるものは、ご家族に了解を得て回収して頂いています。施設内では、業務改善委員会で、危険防止について話し合っています。		今後とも業務改善委員会と連携に機能は行きたいと思っております。
69 ○事故防止のための取組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	入居者様一人ひとりに合わせて見守り介助を行っています。		常にスタッフには、情報を流しながら、勉強する機会を設け、事故防止に取り組んでいきます。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全スタッフが救命講習を受け、応急手当等の訓練を行っています。		ビデオなどを利用して、定期的に、勉強する事も必要だと思っております。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	入居者様と全スタッフ・母体関係者で、年2回避難訓練を行います。お一人お一人の連携で消火器訓練も行っています。		地域の方々の参加は、今後の課題として、地域の方に働きかけたいと思っています。

項目	実施している内容・実施していない内容	取り組みの事実	(取組んでいない項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(実施している内容・実施していない内容) ご家族には健康状況を文章で報告しています。お話し合いもご説明しています。 状況変化時にはすぐに電話報告しています。全スタッフもモニタリングを行い対応策を話し合っています。	○	モニタリング会議も個別自白になる事が多いので、多人数で行う会議になる様、努力して行っています。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの生活記録に毎日の血圧、その日の体調の変化、異常などを記入し、毎朝申し送りをしていきます。周知事項については、ノートに記載し、スタッフの確認(サイン)により徹底しています。記録は個別にファイルし、スタッフも情報と共有しています。		医師(主治医)・看護師にも常に、入居者様一人ひとりの体調変化の情報は流しています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めています	入居者様の服用する薬の(効能効果・副作用・注意事項等)の説明書を個人別にファイルし、いつでも見ることが出来る様にしていきます。入居者様の病気を理解し、変化があれば、直見察し、症状の報告と薬の内容がかわった場合は、主治医の診察が受け付けられます。	○	服薬の飲み込み確認は十分にやっています。おかしな飲み残りの事がある一人ひとりに、注意深く支援して行きます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	野菜中心の食事を心がけ、個人別に、水分排泄記録を付けています。牛乳、野菜ジュース等摂取しています。無理のない程度に運動・散歩・家事等参加して頂く様、支援しています。		どうしても便秘が続く、体調が不良の時、医師に連絡し指示も受け付けています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に歯磨きの声掛け支援をしています。歯茎の炎症、入れ歯のケア、歯ブラシや歯磨き粉を適量の歯も定期的には消毒しています。外から帰ってきた後は、フケの支援をしています。		口腔内に炎症があったり、義歯が合わない時は、ご家族にご相談してからの歯科医に受診しています。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様の食べる量に反応して盛り付けし、野菜中心で肉、魚をバランス良く摂取出来る様にかかっています。調味料も付けています。一人一人の水分摂取表も付けています。お水、水分をなるべく多く取って頂く様、工夫をしています。		水分は積極的に摂取出来る様、支援しています。食事摂取状況もチェックし、体調面の確認をしています。

項目	実施している内容・実施していない内容	印刷 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取組んでい ることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めが あり、実行している (インフルエンザ、疥 癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)		インフルエンザ予防接種費用は個人負担 なので、ご家族の同意が得られず 接種しない方もいます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場として の台所、調理用具等の衛生管理を行い、新 鮮で安全な食材の使用と管理に努めている		幅広く国産の食材を使用していること を思っています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	(1)居心地のよい環境づくり		
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとつて親し みやすく、安心して出入りができるよう に、玄関や建物周囲の工夫をしている		近隣の方達の頻繁な出入りはありがたい が、入居者様の方と散歩に出かけた時 は、挨拶や会話などをして、親しみやすく 頂くよう工夫しています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、 食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとつ て不快な音や光がないように配慮し、生活 感や季節感を採り入れて、居心地よく過 せるような工夫をしている		季節感と出る為、行事や節句の飾り付けは、 窓・廊下居間にも飾り付けをしています。 入居者様と飾り付けを一緒に行う事 時期がわかる事があります。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づ くり 共用空間の中には、独りになれたり、気 の合った利用者同士で思い思いに過ごせる ような居場所の工夫をしている		入居者様、同志で話せる様、廊下にも ソファを置き居場所作りをしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	し甲 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い馴れた、家具や生活用品を持ち来り頂き、安心して過ごして頂く事を心がけています		居室内で使用しなくなった物・使用して頂いていない物などは、ご家族に報告し、ご本人が混ざらない様に工事をします。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	空気の入れ換えを行い過こしや可い湿度にする様努めています。冬期は暖房床暖を使用する為、濡れタオルを干し湿度も適切にしています。	○	更に冬期間の湿度対策と見当して行きたいです。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全性を考慮トイレの高さを変え、設置したリ廊下浴室、トイレ等に手すりを設置し、安全に生活出来る様にします		洗面所の高さも低い所を作り直します。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者様一人ひとりの人格やアライドを尊重し、見守りしながら、わかる力を活かせる様、さりげない介助、誘導もしています。		入居者様の混乱や失敗が、あることも、スタッフは、コミュニケーションを大切にして見守り、介助して行きます。
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	中庭や玄関にベンチを置き、気軽に余暇を過ごせます。中庭には、花畑や畑があり入居者様が野菜と採り、花を摘んだり出来る。また芝生を植え、パークゴルフが楽しめます。		今年芝生にパークゴルフコースを作り直します。入居者様も楽しんで頂きます。

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することでき生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を ○ 印 で 囲 む こ と)	
項 目	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている <input type="radio"/>
98	職員は、活き活きと働けている <input type="radio"/>
99	職員から見ると、利用者はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/>
100	職員から見ると、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)